

星座について

<春の星座>

※できれば別紙の「春の星座」をご覧くださいながらお読みください。

今頃（7月中旬）であれば、午後8時ごろ、北西の方角に北斗七星（別名：ひしゃく座）が見えます。

ひしゃくの柄に沿ってカーブした延長上に白く輝くおとめ座のスピカが見えます。

同じくらいの長さを延長するとオレンジ色に輝くうしかい座のアークトールスが見えます。

さらに半分の長さを延長するとあまり明るくない4つの星が見えます。これがからす座です。

ひしゃくの柄 ～ スピカ ～ アークトールス ～ からす座までを「春の大曲線」といいます。

<夏の星座>

※できれば別紙の「夏の星座」をご覧くださいながらお読みください。

「夏の星座」は、外では真上にかざして見るように描かれています。

織姫星と彦星を見たことはありますか。織姫星はこと座のベガという星、彦星はわし座のアルタイルという星です。はくちょう座のデネブを含め、夏の大三角と言います。8月下旬の午後9時ごろ（または8月中旬の午後10時ごろ）に、天頂（真上）付近にアルタイルを南側の頂点とした二等辺三角形が見られます。一等星で作る二等辺三角形なので、日時と方位が分かれば探せると思います。

織姫星と彦星の間に天の川が流れています。天の川の中をはくちょう座が西に向かって進んでいきます。天の川は月明かりのない天気の良い日、街灯のない暗い地域で見ることができます。（市川市では難しいかもしれません）見えていれば夜空に白い筋が見えるので、教わらなくても分かるかもしれません。